

令和 6 年 度
(令和 5 年度実施事業)

鹿島市の教育に関する事務の管理及び 執行の状況の点検及び評価報告書

目 的 ・ 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 6 条の規定により教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくために実施していくものである。

令和 6 年 9 月

鹿島市教育委員会

目 次

P1 ……点検・評価制度の概要

P2～4…教育委員会会議と教育委員の活動状況

10款. 教育費

(1項)教育総務費

P5 ……スクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー活用事業

P6 ……鹿島市日韓子ども交流事業、外国青年招致事業、特別支援教育支援員事業

P7 ……金管バンド指導支援員活用事業、コミュニティ・スクール推進事業、補充学習等支援事業、
スクール・サポート・スタッフ配置事業

P8 ……ICT 支援事業、学力向上対策事業、学力向上サポーター活用事業、学力向上支援員事業

P9 ……児童生徒自立支援事業、フッ化物洗口むし歯予防事業、教育支援事業

P10……医療的ケア児支援事業、研究指定校事業

(2項・3項)小学校費・中学校費

P11……教材等備品整備事業、感染症流行下における学校教育活動体制整備事業、
部活動指導員活用研究事業

P12……特別支援学校等通学対策事業、児童奨励対策事業・生徒奨励対策事業、就学援助事業、
遠距離通学児童生徒対策事業

P13……一人ひとりを伸ばす教育推進事業

P14……小中学校施設整備事業

P15……小学校長寿命化改良事業、中学校大規模改造整備事業

(4項)社会教育費

P16……社会教育振興

P17……少年教育

P18……青少年対策、二十歳の集い

P19……65歳盛年の集い、芸術文化振興事業、男女共同参画社会づくり事業

P20……出前講座、放課後子どもプラン

P21……公民館一般経常

P22……生涯学習センター一般経常

P23……市民図書館一般経常

P24……市民文化ホール及びふるさと資料館管理運営事業

P25……社会同和教育事業

P26……文化財保護事業

(5項)保健体育費

P27……スポーツ推進事業

P28……市立学校体育施設開放事業、スポーツ組織等の強化育成事業、
第78回国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業

P29……体育施設管理事業

P30……学校給食運営事業

P31～33…教育委員会事業の重点目標及び評価

1. 点検・評価制度の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成20年4月1日施行）が行われ、教育委員会の属する事務の管理及び執行の状況について、毎年、点検及び評価に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

また、点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされ、点検・評価の具体的な項目や指標については、国で項目等を定めず、各教育委員会が、実情を踏まえて決定することとされています。

これを受けて、鹿島市教育委員会では、令和5年度に実施した各種の事務事業が効率的かつ、有効的に行われてきたかを点検・評価し、課題や取組の方向性を明確にすることにより、今後の鹿島市教育行政の一層の充実、推進へと努めていきます。

（1）点検・評価の対象

令和5年度 鹿島市学校教育方針及び鹿島市社会教育方針に基づき実施した主な事業

（2）点検・評価の方法

教育委員会が自己評価を行い、その後専門的な視点からの評価・助言をいただく外部評価を行う。

①必要性・効率性・有効性・公平性等の観点から分析し、課題や問題点、今後の改善点について示し、評価は4段階で実施

1	達成
2	ほぼ達成
3	やや不十分
4	不十分

②客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方4人で構成する教育委員会評価委員会を設け、評価点検を実施

教育委員会評価委員会委員（順不同、敬称略）

	名 前	分 野
委員長	浦郷 淳	大学関係者
副委員長	廣田 弘一郎	校長経験者
委 員	古賀 貴美子	P T A会長経験者
委 員	林 直子	社会教育関係者

２． 教育委員会会議と教育委員の活動状況

（１）教育委員会の概要

教育委員会は地方公共団体の首長から独立した行政委員会として位置づけられ、教育長及び委員をもって組織されており、会議を通じて教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それにもとづいて教育長が事務を執行します。

教育長及び委員は、地方公共団体の長が議会の同意を得て任命します。

教育長の任期は３年、委員の任期は４年。（ともに再任可）

鹿島市教育委員会 (令和６年３月３１日現在)

職 名	氏名
教育長	中 村 和 彦
委員（教育長職務代理者）	池 田 正 明
委 員	岡 田 和 人
委 員	山 口 知 子
委 員	吉 田 美 砂 子

（２）教育委員会会議の状況

教育委員会では、毎月１回の定例会、必要に応じて臨時会を開催しています。議案審議のほか、事務局からの報告により、必要事項についての情報共有を図りました。

令和５年度は、定例会１２回、臨時会１回の計１３回開催しました。

①会議の開催状況及び議案等

種 別	開催日	主な議案等
定例会	令和５年４月３日	・ 令和５年度鹿島市学校教育方針及び鹿島市社会教育方針 ・ 鹿島市歴史的景観条例施行規則の一部を改正する規則
定例会	令和５年５月２日	・ 学校運営協議会委員の任命 ・ 鹿島市立中学校における部活動検討委員会委員の委嘱 ・ 鹿島市通学路安全推進連絡協議会委員の委嘱 ・ 鹿島市教育支援委員会委員の委嘱 ・ 鹿島市いじめ問題対策委員会委員の委嘱 ・ 鹿島市文化財保護審議会委員の任命 ・ 鹿島市民文化ホール条例施行規則の制定 ・ 鹿島市民文化ホール条例の施行期日を定める規則の制定 ・ 鹿島市ふるさと資料館条例施行規則の制定

		・鹿島市ふるさと資料館条例の施行期日を定める規則の制定 ・議案第17号 鹿島市教育委員会規則の一部改正について
定例会	令和5年6月1日	・鹿島市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱 ・鹿島市社会教育委員兼鹿島市公民館運営審議会委員の委嘱 ・鹿島市放課後子どもプラン推進事業運営委員会委員の委嘱 ・鹿島市社会同和教育地域推進員の委嘱 ・鹿島市立小・中学校の学校薬剤師の委嘱 ・令和5年度教育費予算の6月補正
定例会	令和5年7月4日	・鹿島市通学路安全推進連絡協議会委員の委嘱 ・鹿島市通学路安全推進連絡協議会設置要綱の一部を改正する規則 ・鹿島市スポーツ推進審議会委員の任命
定例会	令和5年8月3日	・鹿島市立中学校における部活動検討委員会委員の委嘱
臨時会	令和5年8月3日	・令和6年度以降使用小学校教科用図書採択
定例会	令和5年9月1日	・鹿島市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価報告書 ・令和5年度教育費予算の9月補正
定例会	令和5年10月3日	・令和5年度鹿島市教育委員会表彰
定例会	令和5年11月2日	・鹿島市通学路安全推進連絡協議会委員の委嘱
定例会	令和5年12月1日	・鹿島市生涯学習センターの指定管理者の指定 ・鹿島市民図書館の指定管理者の指定 ・令和5年度教育費予算の12月補正
定例会	令和6年1月9日	・鹿島市立小・中学校の管理に関する規則の一部を改正する規則
定例会	令和6年2月2日	承認事項、報告事項のみ
定例会	令和6年3月1日	・鹿島市教育委員会評価委員会設置要綱の制定 ・鹿島市歴史的景観条例施行規則の一部を改正する規則 ・令和5年度教育費予算の3月補正 ・令和6年度教育費予算 ・県費負担教職員の任免、進退についての内申
附議事項37件・承認事項16件・報告事項12件		

②会議内容の公表方法

議事録を作成し、市公式ホームページにて公表

③公表内容

- ・開会、閉会、休憩の年月日時刻
- ・出席及び欠席委員の氏名
- ・委員及び傍聴人を除き、議場に出席した者の氏名
- ・会議に附議した事件の題目及びその内容

（３）教育委員の活動状況

教育長と教育委員は、教育委員会会議の他、地方自治体の長が設置する総合教育会議に出席しています。総合教育会議では、教育委員会と市長部局との連携の重要性を確認し、教育の課題について協議しています。

また、学校訪問や各種行事、式典、研修等に参加し、教育現場の状況を把握するとともに教育に関して見分を深めています。

- ・ 総合教育会議 １回
- ・ 学校訪問 ５回
- ・ 学校施設現状把握 １回
- ・ 入学式、卒業式、運動会、体育大会等
- ・ 市教育研究大会（１０月）
- ・ 九州地区市町村教育委員会研修大会（８月）
- ・ 佐賀縣市町教育委員会連合会役員現地研修会（１０月）

10 款. 教育費

※ 教育費については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に規定する報告書を兼ねます。

令和5年度鹿島市学校教育方針に基づき、児童生徒が未来の創り手として主体的に生きるために、確かな学力・豊かな心・健やかな体の三つの要素（生きる力）について、調和の取れた育成を図った。また、学校・家庭・地域のつながりと信頼関係を強め、児童生徒が個性と能力を発揮できる教育を推進した。また、教職員の資質向上及び教育環境の整備・充実に努めた。

令和5年度鹿島市社会教育方針に基づき、市民一人ひとりに学べる環境の整備と機会の提供を行い、生きがいやまちづくりに活かすことができるよう社会教育関係団体と連携・協働し生涯にわたり学習していく社会づくりを行った。また、公民館活動による地域課題の解決やコミュニティ支援を行うとともに、社会教育の推進と文化・スポーツの振興を図り、誰もが学べる環境づくりを行った。

10 款. 教育費 （1 項）教育総務費

新しい時代を生きる豊かな人間性や基礎・基本を身につけさせ、自ら個性を発揮し未来を切り拓く力の育成を図るために、児童生徒の実態を踏まえ、一人ひとりの能力を伸ばすための各種施策を展開した。

国際理解教育の一環としての韓国の大西（テソ）初等学校との交流では、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から訪問形式の交流は中断していたが、令和5年度は韓国からの訪問を受け入れ、国際理解教育の一環として交流を深めた。また、県教育委員会が定めた研究領域により実践を通して研究を行い、成果発表を行う研究指定校事業を実施するとともに、学校、家庭、地域が連携して子どもたちを育むための各種事業を推進した。

特別支援教育支援員、スクール・サポート・スタッフ、学力向上支援員、学校看護師、部活動指導員等を継続して配置するとともに I C T 支援員においてはこれまでの2名体制から3名体制に増やし、児童生徒の学びと学校生活の保障及び小中学校のサポート体制の充実を図った。

○教育総務費の主な事業

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	スクールカウンセラー事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	2,206	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				734			1,472
事業内容	教育相談に関して専門的な知識・経験を有する者をカウンセラーとして配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図り、悩みや心配事のある子どもたちやその保護者、教職員に対して、助言や指導を行うことができた。小中学校9校兼務 2人配置。 配置時間数 952 時間(うち 532 時間は県事業)総活用者数 小学校延べ 369 人 中学校延べ 400 人						
事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	449	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							449
事業内容	学校だけでは解決できない問題に対しスクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱える児童生徒の課題解決に向けた支援を行った。子どもたちが気軽に相談できる体制を整え、様々な悩みに対し助言を行い、学校・家庭・関係機関との連携を図った。小中学校9校兼務 3人配置。 配置時間数 909 時間(うち 640 時間は県事業) 活用者数 小学校 17 人 中学校 17 人						

○教育総務費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	鹿島市日韓子ども交流事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	661	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							661
事業内容	国際交流事業の一環として、北鹿島小学校と姉妹校締結をしている韓国高興郡大西(テソ)初等学校の児童の交流を通じて国際理解教育の推進を図った。 相互に訪問形式で行ってきた事業であるが、令和2年度から令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症流行のため、互いの訪問が困難となりオンライン交流の形式で実施してきたが、令和5年度は、約5年ぶりに北鹿島小学校に迎えての対面交流を行った。 交流会をより深まりのあるものにするために事前に全校児童を対象とした韓国語講座を実施し、韓国の言葉だけでなく、習慣や文化の違いを知ることによって交流への興味や関心を高めることができた。 交流会では、3、4年生の面浮立をはじめとする出し物、大西初等学校からの出し物を鑑賞し、互いの文化を理解することにつながった。 さらに、初日の夜には、大西初等学校から訪れた児童11名が、北鹿島小学校のホストファミリーと共にホームステイ交流を行った。それぞれの家庭において食事や花火を楽しみ、日本の家庭生活を満喫することができ、一層の国際理解促進に寄与した。このように、実際に異なる文化と触れ合うことで、互いの国際理解を深め、異なる視点から自身の世界を広げる機会となった。						
	 ○全校児童との交流会 						
事業名	外国青年招致事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	10,109	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						649	9,460
事業内容	中学校の英語教育の充実を図るとともに、小学校の英語活動への派遣、地域レベルでの国際交流の進展を図った。小中学生時にネイティブスピーカーによる指導を受けることは、外国語をより身近なものとし、語学習得、国際理解への意欲を増進させることにつながった。 外国語指導助手(ALT) 西部中学校・東部中学校 各1人配置						
事業名	特別支援教育支援員事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	17,485	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						12,000	5,485
事業内容	軽度発達障害など教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して、学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うため、市内全小中学校に11人の支援員を配置した。 市内小中学校に1～2人ずつ配置し、特別支援学級に136人が在籍していたが、きめ細かに個別対応することができ、学習効果を高めることができた。 (1日7時間勤務)						

○教育総務費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	金管バンド指導支援員活用事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	321	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							321
事業内容	適切な指導と教員の負担軽減を図ることを目的に、専門的な指導が必要な吹奏楽(鹿島小学校)に指導支援員1人を配置した。 専門的な指導を行うことで、児童がより高度な技術を身につけることができ、また従来指導に当たっている教員の負担軽減を図ることができた。 年間 307 時間・164 日(1日 1～3時間勤務)						
事業名	コミュニティ・スクール推進事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	752	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						500	252
事業内容	コミュニティ・スクールとは、学校の大きな方針を決める「学校運営協議会」に地域住民や保護者が参加し、地域の意見や知恵を反映した、地域としっかりしたつながりのある開かれた学校である。 令和5年度に西部中学校と東部中学校に学校運営協議会を設置されたことにより、市内全小中学校で設置が完了し、幅広い視点で学校運営や教育活動について協議を行った。 協議会の委員には地域人材を活用することで、教育活動がより充実し地域とつながりのある組織になり、地域と学校の双方向の交流につなげることができた。						
事業名	補充学習等支援事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	554	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				332		222	
事業内容	中学校において、学習内容の定着が十分に図れていない生徒のため、地域の人材(退職教職員等の社会人や保護者、教員志望の大学生等)を活用し、補充学習を行った。 放課後に1回あたり1～2時間を確保し、学習支援を行った。地域の教育力を活用することで、学習への意欲づけと自主的な学習習慣を確立し、生徒の基礎的な学力定着を図ることができた。補充学習で理解が深まったことで、授業への取り組みにも意欲が見られるようになった。 登録指導員数: 11人 受講生徒数 西部中延べ 1,225 人・東部中延べ 1,353 人						
事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	13,855	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				2,705		5,500	5,650
事業内容	小中学校において、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、地域の人材を活用し、学校教育活動の一層の充実及び学校の働き方改革の推進を図ることを目的に、スクール・サポート・スタッフを市内小中学校に16人配置した。 学習内容の定着が不十分な児童生徒や学習態度に落ち着きのない児童生徒に対して、教職員と協同してきめ細やかな支援を行った。また問題を抱えた児童・生徒に対し、心に寄り添いながらの支援は、多くの子どもたちにとって大きな支えになった。 (1日 4 時間勤務)						

○教育総務費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	ICT支援員事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	6,778	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						5,500	1,278
事業内容	ICT 支援員を3人配置し、児童生徒の一人一台パソコンを使った授業の支援や教職員からの相談を受け電子黒板、校務用パソコン等の情報機器に関する支援などを行った。 ・校務用パソコン、電子黒板の設定支援、動作不具合対応 ・デジタル教科書操作支援 ・校務支援システム操作支援 など						
事業名	(一般管理事業) 学力向上対策事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	1,120	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							1,120
事業内容	『「確かな学力」の向上を図ろう』を研究主題とし、指導方法の工夫改善、児童生徒の活用力を育むための授業改善を図った。 7月に開催された研修会においては、各学校で4月に実施した知能検査・学力調査を担当する教職員を対象に、結果等に関する分析を行い、成果や課題、取組等を共通理解し、全教職員が効率的に学力向上対策に取り組むことができた。 また、小学校の卒業生に対し、中学校に向けての課題を作成・配布することで、学習内容の定着を図った。 ○研究授業(能古見小学校)						
事業名	学力向上サポーター活用事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	320	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							320
事業内容	平成28年度から令和3年度までは、市内全ての小学校において実施していた。 令和4年度からは、鹿島小学校、明倫小学校で、学習内容の定着が十分に図れていない児童のために、外部指導者(退職教職員等の社会人や地域の方、教員志望の大学生等)による補充学習を放課後等に行うことにより、基礎学力の定着、学習への意欲づけと学習習慣の確立を図っている。 なお、実施校以外は学力向上支援員事業として、各小学校を巡回しながら補充学習を行っている。 登録指導員数:10人 放課後 80時間						
事業名	学力向上支援員事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	2,356	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							2,356
事業内容	令和4年度から、市内5小学校(能古見・古枝・浜・北鹿島・七浦)で、学習内容の定着が十分に図れていない児童のために、英語教諭資格者(1名)が小学校を巡回し、英語及びそれ以外の授業を補助している。 この事業により、基礎学力の定着、学習への意欲づけと隅々まで行き届く学習の習慣づけを助長することができた。						

○教育総務費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名				児童生徒自立支援事業		所管課		教育委員会 教育総務課 学校教育係		
						費 目		事務局費		
事業費 (千円)		4,976		財源	国	県	市債(借入金)		その他	一般財源
						767			2,500	1,709
事業内容				適応指導教室「さくら」及び「さくら別室」(西部中学校内)において、心理的、情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別指導や小集団での指導を行った。生徒が心のゆとりをもてるような環境を提供し、自立を促しながら集団生活に適応する力を育み、学校・学級への早期復帰を目指して支援を行った。 個別指導により、高校への進学が決定したり、学校へ復帰したりするなどの成果が見られた。 学校適応指導教室「さくら」指導員 1 人・補助指導員 1 人・利用者 中学生 4 人 小学生 1 人 「さくら別室」支援員 1 人・利用者 中学生 10 人						

事業名				フッ化物洗口むし歯予防事業		所管課		教育委員会 教育総務課 学校教育係		
						費 目		事務局費		
事業費 (千円)		326		財源	国	県	市債(借入金)		その他	一般財源
										326
事業内容				小・中学校において、むし歯予防に高い成果があり、国及び県でも実施が推奨されているフッ化物洗口を行うことにより、むし歯罹患率の減少を目指した。令和2年度から試薬が厳格化されたことにより実施を中断していたが、令和4年度から再開した。令和5年度は93%の児童生徒が希望し実施した。DMF 指数(むし歯を経験した歯の数)は年々減少傾向にある。 令和5年度 フッ化物洗口実施児童生徒数：児童 1,446 人・生徒 643 人 合計 2,089 人						

事業名				教育支援事業		所管課		教育委員会 教育総務課 学校教育係																								
						費 目		事務局費																								
事業費 (千円)		356		財源	国	県	市債(借入金)		その他	一般財源																						
										356																						
事業内容				早期からの教育相談を実施し、就学支援について情報提供・助言を行うとともに、「ことば」や、対人関係など困難な状況にある児童生徒に対して、通級による個々の発達の状態や特性に応じた指導を行った。 個に応じた学習やきめ細やかな指導を行い、学習上、生活上の困難を改善することができた。 【通級指導教室の設置状況】 <table><tr><td>鹿島小学校 (言語)</td><td>25 人</td></tr><tr><td>〃 (LD/ADHD等)</td><td>18 人</td></tr><tr><td>古枝小学校 (LD/ADHD等)</td><td>17 人</td></tr><tr><td>浜 小 学 校 (LD/ADHD等)</td><td>11 人</td></tr><tr><td>七浦小学校 (LD/ADHD等) ※</td><td>8 人</td></tr><tr><td>明倫小学校 (LD/ADHD等)</td><td>26 人</td></tr><tr><td>西部中学校 (LD/ADHD等)</td><td>29 人</td></tr><tr><td>東部中学校 (LD/ADHD等)</td><td>18 人</td></tr></table> ※ 七浦小学校は、令和5年度より巡回指導対応 (LD:学習障がい、ADHD:注意欠陥多動性障がい) 【特別支援学級の設置状況】 <table><tr><td>小学校</td><td>2 1 学級</td><td>1 0 0 人在籍</td></tr><tr><td>中学校</td><td>9 学級</td><td>3 6 人在籍</td></tr></table> 教育支援委員会委員 2 0 人 就学相談会相談員 1 0 人							鹿島小学校 (言語)	25 人	〃 (LD/ADHD等)	18 人	古枝小学校 (LD/ADHD等)	17 人	浜 小 学 校 (LD/ADHD等)	11 人	七浦小学校 (LD/ADHD等) ※	8 人	明倫小学校 (LD/ADHD等)	26 人	西部中学校 (LD/ADHD等)	29 人	東部中学校 (LD/ADHD等)	18 人	小学校	2 1 学級	1 0 0 人在籍	中学校	9 学級	3 6 人在籍
鹿島小学校 (言語)	25 人																															
〃 (LD/ADHD等)	18 人																															
古枝小学校 (LD/ADHD等)	17 人																															
浜 小 学 校 (LD/ADHD等)	11 人																															
七浦小学校 (LD/ADHD等) ※	8 人																															
明倫小学校 (LD/ADHD等)	26 人																															
西部中学校 (LD/ADHD等)	29 人																															
東部中学校 (LD/ADHD等)	18 人																															
小学校	2 1 学級	1 0 0 人在籍																														
中学校	9 学級	3 6 人在籍																														

○教育総務費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	医療的ケア児支援事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	1,576	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				500			1,076
事業内容	「医療的ケア」とは、治療を目的とするものではなく障がいに伴い日常的に生命の維持、健康状態の維持・改善のために必要な医療行為のことをいう。 学校看護師によるバイタルチェックや経管栄養、経口摂取を行うことにより、医療的ケアを必要とする児童生徒にとって安全な学校生活及び教育活動を促すことができた。 (1日5時間勤務)						
事業名	研究指定校事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	398	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				398			
事業内容	県教育委員会が定めた研究領域により実践を通して研究を行い、成果発表を行う研究指定校に令和5年度は市内小学校2校が指定された。 ○ 能古見小学校【テーマ：算数】2年目 ・ 問題解決に向けて見通しをもつことのできる導入の工夫 ・ 児童が中心となり自由に学び合う展開の工夫 ・ 毎時間の授業を大切にするとめ・振り返りの工夫 ・ 支援を要する児童への手立ての工夫 ・ I C Tの効果的な活用 を日々の授業で実践することにより、問題把握ができるようになり、目標を明確化して、学習に取り組めるようになった。 ○ 七浦小学校【テーマ：SDG s】1年目 SDG s (持続可能な開発目標)の視点で様々な体験活動や探求的学習を取り入れ、発見した課題に対して児童自らが「自分に何ができるか」という主体的に考え行動できる児童の育成を目指す。主体的に考え行動するためには情報収集、整理分析、表現力等が必要であり、地域と連携した教育活動の中でそれらを実現する方策として、生活科・総合的な学習を軸にした教科横断的な学習に取り組んだ。 ・ そのことにより、徐々にではあるが「主体的な学び・協働的な学び」の実現に近づくことができた。						

10款 教育費 (2項・3項) 小学校費・中学校費

次世代を担うたくましい児童生徒の育成のために、その基盤となる学力の向上及び心の教育の充実に向けての施策を展開した。

福祉・環境・情報教育を推進し、現代社会に対応できる人材育成のための各種施策や総合的な学習の時間などを利用して自ら学び考える力を伸ばし「生きる力」を育成する施策を推進した。

ふるさと人材育成支援基金を活用した郷土の人材を育成するための施策や各種営繕を含めた学校施設の整備など、安全で快適な教育環境づくりのための各種施策を展開した。

○小学校費・中学校費の主な事業

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	(小学校一般管理事業・中学校一般管理事業) 教材等備品整備事業			所管課	教育委員会 教育総務課 施設整備係		
				費 目	学校管理費		
事業費 (千円)	14,280	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						300	13,980
事業内容	教育環境の整備充実のため、小・中学校の各種備品の整備を行った。						
	○備品整備状況(新型コロナウイルス感染症対策用備品は除く。)(単位:円)						
	区 分		小学校	中学校	計		
	1	教材備品	2,742,465	1,181,260	3,923,725		
	2	一般備品	5,279,357	1,833,935	7,113,292		
	3	図書備品	2,151,441	1,092,003	3,243,444		
	計		10,173,263	4,107,198	14,280,461		
学校事務の共同実施による備品の共同購入を行い、効率的な予算の執行を行った。							
基金(光武文庫)を活用し、小学校図書の充実を図った。							

事業名	感染症流行下における学校教育活動体制 整備事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	学校管理費		
事業費 (千円)	3,415	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
			3,415				
事業内容	感染症流行下において、市内小中学校が感染症の影響を最小限に止めつつ学校教育活動を継続できる環境を維持するため、学校の感染者等の発生に伴う対応やその他の教育活動継続等に要する取組及び学校における効果的な換気対策に係る取組を実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校の規模に応じた必要な経費を支援した。						
	【学校で購入等を行った主なもの】						
	・感染症対策保健衛生用品(消毒液、手洗い石鹸など) ・換気対策(網戸、壁掛け扇風機、空気清浄機など)						

事業名	部活動指導員活用研究事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	学校管理費		
事業費 (千円)	1,127	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				691			436
事業内容	西部中学校に2人(卓球・サッカー)、東部中学校に2人(バレーボール・ソフトテニス)の部活動指導員を配置し、部活動顧問教員の負担軽減と生徒の多様なニーズに対応した指導体制の充実を図ることができた。また、顧問と指導員が連携して指導をすることにより、生徒との信頼関係を築くことができ、生徒が安全・安心な環境の中で活動することができた。						
	一人あたり 年間 162 時間・73 日(1日 2～3 時間勤務)						

○小学校費・中学校費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	特別支援学校等通学対策事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	事務局費		
事業費 (千円)	48	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							48
事業内容	特別支援学校の生徒が寄宿舎から帰省する際の交通費の補助を行い、生徒及び保護者の移動に伴う経済的負担を軽減することができた。 ○ 対象生徒数 2人						

事業名	児童奨励対策事業・生徒奨励対策事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	教育振興費		
事業費 (千円)	2,559	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						2,559	
事業内容	中学校の生徒及び教職員が、学校教育振興に関する諸活動(学術、研究、体育、スポーツ活動等を含む)のため、九州大会に市の代表として出場する場合の参加経費について、補助金を交付した。 大会の参加経費を補助することにより、生徒及び教職員の経済的負担を軽減するとともに、学校教育諸活動の振興に寄与することができた。 中学校 2,558,500 円 : 全国大会 バレーボール、ソフトテニス 九州大会 バレーボール、ソフトテニス、水泳、柔道、吹奏楽						

事業名	(教育振興費) 就学援助事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係														
				費 目	教育振興費														
事業費 (千円)	12,698	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源												
			1,677				11,021												
事業内容	経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等の支給(要保護・準要保護就学援助費)を行った。 <table><tr><td>小学校</td><td>65 人(うち要保護 1 人)</td><td>4,421,941 円</td></tr><tr><td>中学校</td><td>47 人</td><td>4,920,677 円</td></tr></table> 特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対し、学用品費等の支給(特別支援教育就学奨励費)を行った。 <table><tr><td>小学校</td><td>70 人</td><td>1,975,985 円</td></tr><tr><td>中学校</td><td>28 人</td><td>1,379,415 円</td></tr></table> 保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な運営を図ることができた。							小学校	65 人(うち要保護 1 人)	4,421,941 円	中学校	47 人	4,920,677 円	小学校	70 人	1,975,985 円	中学校	28 人	1,379,415 円
小学校	65 人(うち要保護 1 人)	4,421,941 円																	
中学校	47 人	4,920,677 円																	
小学校	70 人	1,975,985 円																	
中学校	28 人	1,379,415 円																	

事業名	(教育振興費) 遠距離通学児童生徒対策事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係											
				費 目	教育振興費											
事業費 (千円)	1,476	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源									
							1,476									
事業内容	遠距離通学をする児童生徒の保護者に対して、通学方法に応じた補助金を交付した。 <table><tr><td>小学校</td><td>53 人</td><td>421,992 円</td></tr><tr><td>中学校</td><td>40 人</td><td>933,872 円</td></tr></table> 能古見小学校浅浦分校廃校に伴い、元浅浦分校区から通学をする小学 1・2 年生の保護者に対し、距離に応じた補助金(特例通学費)を交付した。 <table><tr><td>小学校</td><td>13 人</td><td>120,000 円</td></tr></table> 保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な運営を図ることができた。							小学校	53 人	421,992 円	中学校	40 人	933,872 円	小学校	13 人	120,000 円
小学校	53 人	421,992 円														
中学校	40 人	933,872 円														
小学校	13 人	120,000 円														

事業名	(教育振興費) 一人ひとりを伸ばす教育推進事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校教育係		
				費 目	教育振興費		
事業費 (千円)	4,731	財 源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						4,620	111
事業内容	鹿島市ふるさと人材育成支援基金条例に基づき、小中学生を対象として、活力ある地域づくりのためにふるさとの多様な自然・歴史・伝統文化・産業等を活かした人材育成事業を行った。 【小学校】 3,517 千円 【中学校】 1,214 千円 学力の向上と心の教育の充実に向けた取り組み、ふるさとの多様な自然、歴史、伝統文化・産業等を活かした人材育成に向けた取り組みを市内各小中学校で実施した。 小学校においては、米や野菜づくり、校内の環境整備、文化的事業やその他の体験活動を行うことにより、豊かな情操と教養の習得を図った。「花いっぱい運動」では、花を育てることにより生命を大切にすることを養うことができた。自分たちで育てた色とりどりの花が咲くことにより、明るく温かい学校の雰囲気づくりにつながっている。 中学校においては、地域の産業、職人の技術、自然や文化、歴史に触れ、郷土への愛着、ものづくりへの興味・関心を高めることができた。 また、鹿島市福祉教育に関する条例に基づき、感性豊かな時期に地域におけるボランティア活動を行い、地域に貢献する温かい人間性豊かな人への成長を助長した。 これらの取組を通して、いろいろな人の立場を思いやって物事を考えることができるようになり、また普段接することの少ない地域の人達とのコミュニケーションを図ることもできた。						
	 ○浮立面づくり						
	 ○先輩に学ぶミニ講演会						
	 ○文化発表会（手話発表）						
	 ○絵画指導のための校内研修						

事業名	小中学校施設整備事業			所管課	教育委員会 教育総務課 施設整備係		
				費 目	学校管理費		
事業費 (千円)	30,264	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						18,500	11,764
事業内容	各小中学校からの工事要望箇所を確認し、危険性の高い箇所や老朽化が著しい施設の修繕や工事を行った。						
	○事業内訳 (単位:円)						
	学 校 名		事 業 費	事 業 概 要			
	1	鹿島小学校	7,344,287	屋外便所改修工事 ほか			
	2	能古見小学校	914,100	管理棟屋上西側防水補修 ほか			
	3	古枝小学校	578,600	階段室1階防火扉フロアヒンジ修繕 ほか			
	4	浜小学校	1,463,440	プール水槽床修繕 ほか			
	5	北鹿島小学校	2,416,750	校舎1階北側トイレ改修工事 ほか			
	6	七浦小学校・音成分校	844,910	駐車場照明取替 ほか			
	7	明倫小学校	2,549,000	給食受所改修工事 ほか			
8	西部中学校	13,153,800	電話設備更新工事 ほか				
9	東部中学校	999,938	ガス栓及び接続管取替 ほか				
 							
○鹿島小学校 屋外便所改修工事							
○西部中学校 バasketゴール取替工事							

○小学校費・中学校費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	小学校長寿命化改良事業			所管課	教育委員会 教育総務課 施設整備係		
				費 目	学校管理費		
事業費 (千円)	85,619	財源	国 25,385	県	市債(借入金) 47,600	その他	一般財源 12,634
事業内容	明倫小学校体育館等の長寿命化を図るため、予防改修工事を行った。				 ○改修後(明倫小)		
	○工事概要 工期 令和5年10月17日～令和6年1月31日 体育館(平成3年1月建/築33年)の老朽化による改修工事						
	○事業費内訳 (単位:円)						
	項 目		事 業 費				
	明倫小長寿命化改良工事		77,220,000				
	明倫小工事監理業務委託		1,909,600				
	浜小実施設計業務委託		6,050,000				
	浜小アスベスト調査業務委託		440,000				
	計		85,619,600				

事業名	中学校大規模改造整備事業 【繰越明許費分】			所管課	教育委員会 教育総務課 施設整備係		
				費 目	学校管理費		
事業費 (千円)	10,309	財源	国 3,341	県	市債(借入金) 6,500	その他 468	一般財源
事業内容	西部中学校の体育館に高効率型照明器具であるLED照明を導入し、内部環境の改善と省エネルギー化を促進した。				 ○改修後(西部中)		
	○工事概要 工期 令和5年5月29日～令和5年8月28日 体育館(昭和50年6月建/築49年)の照明施設をLEDへ取替工事。						
	○事業費内訳 (単位:円)						
	項 目		事 業 費				
	大規模改造工事		9,460,000				
	工事監理業務委託		849,200				
	計		10,309,200				

10 款. 教育費 (4 項) 社会教育費

市民の誰もが、いつでも・どこでも・楽しく学べ、主体的に活動できるような生涯学習のまちづくりのため、鹿島市生涯学習センター・エイブルや地区公民館等を拠点に、広く市民への学習機会の提供と環境づくりに努めた。生涯学習センター・エイブル及び市民図書館は、1期5年の指定管理の節目の年に当たることから、これまでの取組みの検証・総括をふまえ、指定管理更新の手続きを行った。

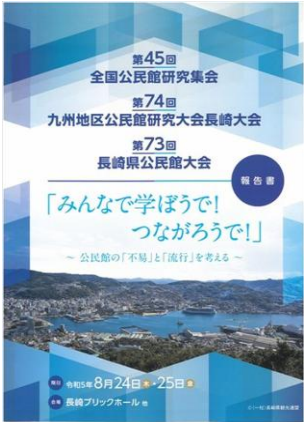
新たな文化活動、市民交流の場として5月末に鹿島市民文化ホール「SAKURAS」が竣工。9月にオープンし、開館記念式典をはじめ様々な記念事業に取り組むとともに、多彩な形態で利用していただいている。

市民文化ホールに併設するふるさと資料館では、歴史・文化・芸術・人物などふるさと鹿島を紹介する展示に取り組んだ。新たな文化財として、黄檗宗寺院である能古見福源寺に伝わる「福源寺梅嶺道雪蒐集書物」を指定した。

社会同和教育事業においては、人権・同和問題の理解と認識を深めてもらうため、人権学習会の開催や学校・地域等で人権作品の取組などを行った。

○社会教育費の主な事業

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	社会教育振興(一般経常)			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費 目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	93,973	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						1,100	92,873
事業内容	○ 田澤義鋪顕彰事業等活性化交付金 2,400千円 田澤義鋪記念館が行う、田澤義鋪の顕彰活動と青年教育活動の振興・支援のため、交付金を交付した。(うち、1,000千円は指定寄附分)						
	○ 第74回 九州地区公民館研究大会・長崎大会 8/24(木)～25(金)長崎ブリックホールで開催。職員1名、公民館職員1名が参加した。						
	○ 第53回 九州ブロック社会教育研究大会(宮崎大会) 21千円 11/9(木)～10(金)宮崎市民文化ホールで開催。職員1名参加した。						
							
	○ 公民館研究大会						
							
	○ 社会教育研究大会						
	○ 社会教育委員兼公民館運営審議会 60千円 7/21(金)、3/7(木) 2回開催						
	○ 佐賀県社会教育委員連絡協議会 3千円 総会・基礎研修会(5/30佐賀市)、実践研修会(1/30神崎市)						
	○ その他経費(職員給料・社会教育指導員報酬・消耗品費・負担金他) 91,489千円						

○社会教育費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	少年教育			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費 目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	1,140	財 源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						1,000	140
事業内容	○ 鹿島市子ども体験塾事業補助金 1,000千円						
	青少年の体験活動に特化した事業を年14回開催。小学生とその保護者を中心に、延べ253名が参加した。 5/14(日) 茶摘み体験&お茶会 〜いろいろ茶のフルコース〜 23人 6/10(土) 起業疑似体験プログラム 12人 8/27(日) 日本を代表する〈ホテルオークラ東京〉のお仕事を学ぶ 18人 9/24(日) 自分の身体とお肌を知ろう〈体成分測定体験会〉 12人 11/19(日) みんなの”キレイ”を支える化粧品ができるまで 18人 11/23(祝) 「冒険の森」にチャレンジ 14人 12/ 2(土) 親子かしま仕事めぐりツアー 9人 12/ 3(日) 起業疑似体験プログラムⅡ 6人 12/16(土) あなたもパイロット! ドローン操作体験会 35人 1/14(日) ジュニア防災塾 ① 〜被災親子の体験談から学ぼう〜 14人 1/28(日) ジュニア防災塾 ② 〜避難所づくりを体験しよう!〜 23人 2/18(日) 桜の植樹とフラワーアレンジメント 29人 3/10(日) SAGA2024 アーチェリー体験会 24人 3/20(祝) 「冒険の森」にチャレンジⅡ 16人						
事業内容	 ○ 茶摘み  ○ 仕事めぐり  ○ 防災教室  ○ アーチェリー						
	○ 市子ども会連絡協議会体育・文化事業補助金 140千円						
事業内容	子ども会活動や地域行事への参加を通じて、子どもの自主性と豊かな創造性を育み、地域コミュニティの充実を図った。 6/10(土)〜11(日) インリーダー研修会 44名 7/23(日) 市子連球技大会 176名 9/16(土)〜9/28(木) 夏休み作品展 412点(習字253点、図画85点、工作74点) 2/23(祝)〜25(日) スノボ・スキー体験・鳥取子ども会との交流 ジュニアリーダーズクラブの育成他						
	 ○インリーダー研修会(森のハウス作り)  ○夏休み作品展  ○市子連球技大会						

○社会教育費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	青少年対策			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費 目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	200	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							200
事業内容	○ 青少年育成市民会議運営補助金 200 千円 地域社会の担い手となる青少年の指導育成や非行防止のため、青少年育成団体、青少年育成指導者及び関係機関等の協力により下記事業等を実施した。 11/28(火)、12月4日(月) 地域環境点検活動(コンビニエンスストア・カラオケボックス 他 17店舗)						
	○ 少年の夢発表会 2/4(日)開催。子どもたちが日頃考え、感じていることを広く市民に発表することで、市民の青少年の健全育成に対する理解を深めるために実施した。令和5年度から、俳句をより親しみやすい川柳に変更したことで、子どもや家庭の様子を感じられるユニークな作品が集まった。エイブルホールにて小中学生の夢作文と、川柳の優秀賞の発表・表彰を行った。 少年の夢発表者 小学生7人・中学生4人 川柳優秀賞8点 奨励賞33点(川柳応募総数1,010点) ※1人当たり1句まで。 作文・川柳の作品展示(エイブル) 2/6(火)～2/18(日)						
							
				○少年の夢発表会(夢作文)			
事業名	二十歳の集い			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費 目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	407	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							407
事業内容	○令和6年 鹿島市二十歳の集い 407千円 1/7(日)開催。新成人232人参加(該当者290人) 会場 鹿島市民文化ホール SAKURAS 時間 開式 14:00 ～						
	令和5年度に新しく開館した鹿島市民文化ホールSAKURASにて初めての開催。新型コロナウイルスも収束し、4年ぶりに西部地区(鹿島・明倫・能古見・北鹿島)と、東部地区(古枝・浜・七浦)合同での開催となった。2階席には家族席を設けた。						
							
				○式典の様子			
							
				○参加者集合写真			
							
				○屋外での様子			

○社会教育費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	65歳盛年の集い			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	300	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							300
事業内容	○ 第32回盛年の集い開催事業交付金 12/3(日)開催。65歳 147人参加(案内状発送 820通) 65歳該当者が実行委員会を組織し、内容の企画・運営にたずさわった。 市民文化ホール SAKURAS で開催した。						 ○第32回盛年の集い
事業名	芸術文化振興事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	600	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							600
事業内容	○ 鹿島市民文化芸術振興事業補助金 600千円 第54回鹿島市文化祭・・・11/3(祝)、4(土)、5(日) 市民文化ホール SAKURAS が完成した事により、生涯学習センターエイブルと一体となって舞台発表や作品展示が行われた。						
事業名	男女共同参画社会づくり事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費目	社会教育総務費		
事業内容	○ 鹿島市みんなの集い 男女共同参画社会づくりを目的とし、各団体の代表者で組織する実行委員会を全8回実施した。 令和 5 年度は鹿島市民文化ホール開館記念イベントの一環として、例年より規模の大きな大会となった。各団体の活動成果発表をはじめ、医学講座(織田病院織田良正氏)や特別記念講演(ハウステンボス歌劇団)もあり、大変盛り上がった。 また、定例の青空市場も開催し、各団体が生産した農水産物や特産物加工品の販売を行った。						 ○ハウステンボス歌劇団特別公演  ○ハウステンボス歌劇団特別公演  ○ステージ発表  ○青空市場

○社会教育費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	出前講座			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費 目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	28	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
							28
事業内容	○ まちづくり出前講座 28千円 誰もが学べる環境を提供するため、各種団体、サークルや学校へ講師を派遣する出前講座を実施した。 令和5年度は、55のメニューから「高齢者の健康・元気づくり」「防災教室」「ふるさとの歴史と文化財」など、延べ111講座を開催し、3,572人が受講し、過去最高の実績となった。 老人クラブは、毎月の定例会で講座を受講している団体も多くある。また、防災に対する関心が強く、受講者が多かった。 (※令和4年度実績、106講座 3,181人)						
	 ○音楽サロン						
事業名	放課後子どもプラン			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費 目	社会教育総務費		
事業費 (千円)	622	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				412			210
事業内容	○ ヒカルの碁鹿島スクール 305千円 6月～3月の第1・3土曜日を中心に、年18回開催。 平安時代に碁聖とたたえられた鹿島出身の寛蓮上人にちなんで開講され、20年以上続いている。 日本棋院鹿島支部の講師の指導により、小中学生16人、延べ207人が囲碁を楽しみ、あわせて礼儀作法も学んだ。						
	 ○ヒカルの碁開講式						
	○ 地区体育館開放事業 262千円 子どもの居場所づくりとして下記の施設を無料開放し、子ども達へ安全な遊び場を提供した。 ・臥竜ヶ岡体育館 1,544人(5月～3月) ※休館日、長期休業を除く平日						
	 ○臥竜ヶ岡体育館の開放						
	○ 放課後子どもプラン推進事業運営委員会 55千円 市内青少年関係団体による会議を開催。放課後の子どもの安全で安心な活動場所を確保し、放課後対策についての意見交換を行った。(7/6開催)						

○社会教育費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	公民館一般経常			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費 目	公民館費		
事業費 (千円)	64,783	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						911	63,872
事業内容	○ 公民館指定管理委託事業 59,001千円 平成20年度から地区公民館に指定管理制度を導入。相互の連携を図るため「鹿島市公民館連絡協議会」を随時開催し、公民館事業・経理業務等についての連絡調整を図った。 令和5年度は、指定管理4期目(1期5年)の1年目として、地区公民館の主体的な事業活動の支援、指導、助言を行い、地域の文化・特色に即した公民館運営を行った。						
	No.	公 民 館 名		委託料(千円)		委 託 団 体 名	
	1	鹿島公民館		7,707		鹿島公民館運営協議会	
	2	能古見公民館・のごみふれあい楽習館		13,648		能古見地区振興会	
	3	古枝公民館・林業センター		9,103		古枝地区振興会	
	4	浜公民館・臥竜ヶ岡体育館		9,558		浜町振興会	
	5	北鹿島公民館		9,120		北鹿島振興協議会	
	6	七浦公民館・漁村センター		9,865		七浦地区振興会	
	○ 地区公民館管理事業 5,782千円 地区住民が多く集まる地区公民館において、安全に安心して地域コミュニティ活動ができるよう公民館施設、設備等の維持、修繕、改修工事並びに備品等の購入を行った。						
	費 目	金額(千円)		内 容			
修繕料	1,459		古枝公民館ロビー床等Pタイル張替修繕 浜公民館前駐車場舗装工事 ほか				
工事請負費	1,821		浜公民館自動火災報知機更新工事 のごみふれあい楽習館和室エアコン取替工事 ほか				
備品購入費	1,205		のごみふれあい楽習館軽自動車購入				
その他	1,297		消耗品費、保険料、負担金 ほか				
合 計	5,782						
							
	○浜公民館前駐車場舗装工事						
							
	○のごみふれあい楽習館軽自動車購入						

○社会教育費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	生涯学習センター一般経常			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係																													
				費 目	生涯学習推進費																													
事業費 (千円)	94,678	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源																											
						174	94,504																											
事業内容	生涯学習センターは平成21年度から指定管理者制度を導入している。令和5年度は3期目(1期5年)の5年目となり、生涯学習事業の企画運営と施設管理を委託し、事業の強化と利活用の推進を図った。																																	
	年度末のエイブル倶楽部会員は1,034人(令和5年度末)であった。																																	
	○生涯学習推進費			○令和5年度生涯学習センター利用状況																														
	<table><tr><th>項 目</th><th>決算額(千円)</th></tr><tr><td>生涯学習センター指定管理委託料</td><td>90,580</td></tr><tr><td>需用費(修繕料)</td><td>1,095</td></tr><tr><td>下水道接続及び浄化槽清掃</td><td>2,991</td></tr><tr><td>消耗品</td><td>12</td></tr><tr><td>合 計</td><td>94,678</td></tr></table>		項 目	決算額(千円)	生涯学習センター指定管理委託料	90,580	需用費(修繕料)	1,095	下水道接続及び浄化槽清掃	2,991	消耗品	12	合 計	94,678	<table><tr><th>施設名</th><th>利用者(人)</th><th>月あたり(人)</th></tr><tr><td>ホール</td><td>15,905</td><td>1,326</td></tr><tr><td>研修室</td><td>8,789</td><td>733</td></tr><tr><td>その他</td><td>12,894</td><td>1,075</td></tr><tr><td>合 計</td><td>37,588</td><td>3,134</td></tr></table>					施設名	利用者(人)	月あたり(人)	ホール	15,905	1,326	研修室	8,789	733	その他	12,894	1,075	合 計	37,588	3,134
	項 目	決算額(千円)																																
	生涯学習センター指定管理委託料	90,580																																
	需用費(修繕料)	1,095																																
	下水道接続及び浄化槽清掃	2,991																																
	消耗品	12																																
	合 計	94,678																																
	施設名	利用者(人)	月あたり(人)																															
	ホール	15,905	1,326																															
	研修室	8,789	733																															
	その他	12,894	1,075																															
	合 計	37,588	3,134																															
※有料施設のみ↑																																		
主に以下の事業を実施した。																																		
○ えいぶる講座(34講座・受講者数 延べ994人)																																		
「スマホなんでも寺子屋」「キッズヨガ&ダンス」「糸かけ数楽アート講座」「睡眠と健康の知恵袋講座」「夏の節電&IHお料理教室」「紅茶のアレンジティー」「山歩き講座」「身近な昆虫を探してみよう」「カメラ講座」「パソコン・スマホ・タブレットお困りごと相談会」																																		
ほか																																		
○ えいぶる事業(9公演) 入場者数 延べ3,851人																																		
「エイブル祭り」「エイブルアウトリーチ事業～津軽三味線×マリンバ・パーカッションコンサート」「座・高円寺レパートリー『ピン・ポン』」「古謝美佐子コンサート～沖縄の風 in 鹿島～」「親子で楽しむコンサート～絵本と音楽のひととき～」「なつかしの映画上映会」「風間杜夫ひとり芝居～最後のロマンス～」「えいぶる映画forキッズ『長靴をはいたネコと9つの命』」「ミュージカル落語『美女と野獣』」																																		
※エイブル祭りのオープニングセレモニーでは「孤独のグルメ」の原作者、久住昌之さんのトークショーを開催した。																																		
○ 床の間コーナー展示事業 (4回)																																		
鹿島の素晴らしい人物や伝統・文化の紹介展示を行った。																																		
「納富進 作品展～洋画～」																																		
「ふるさとの文化財展～松山神社木造神像～」																																		
「かしま再発見展～鹿島地区編～」																																		
「鈴田滋人作品展 自然のリズムと型																																		
～木版摺更紗の可能性を求めて～」																																		
○ えいぶる通信																																		
紙媒体、WEB媒体を両輪とし、新聞やテレビなどのメディアを通じた情報発信に力を入れた。																																		



○キッズヨガ&ダンス



○久住昌之さんトークショー



○床の間コーナーギャラリートーク

○社会教育費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	市民図書館一般経常			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係																														
				費 目	図書館費																														
事業費 (千円)	73,430	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源																												
						2,100	71,330																												
事業内容	鹿島市民図書館は平成21年度から指定管理者制度を導入している。令和5年度は3期目(1期5年)の5年目となった。より専門的なスタッフの配置と知識の習得により、多様化・高度化した市民ニーズに対応できる図書館作りに努めている。																																		
	近年、コロナ禍はもとより人口減少や人口動態の変化、情報端末の普及による活字離れ等の影響も受ける中、入館者数・貸出人数・貸出冊数は減少傾向が続いていたが、令和 5 年度は一部増加に転じ令和4年度の水準を維持することができた。																																		
	○図書館費			○令和5年度市民図書館利用状況																															
	<table><tr><th>項 目</th><th>決算額(千円)</th></tr><tr><td>図書館指定管理委託料</td><td>71, 245</td></tr><tr><td>報酬</td><td>85</td></tr><tr><td>図書資料、備品購入費</td><td>2, 100</td></tr><tr><td>合 計</td><td>73, 430</td></tr></table>		項 目	決算額(千円)	図書館指定管理委託料	71, 245	報酬	85	図書資料、備品購入費	2, 100	合 計	73, 430	<table><tr><th>項 目</th><th>総 数</th><th>1日平均</th></tr><tr><td>入館者数</td><td>72, 317</td><td>249</td></tr><tr><td>貸出人数</td><td>43, 425</td><td>150</td></tr><tr><td>貸出冊数</td><td>222, 565</td><td>765</td></tr><tr><td colspan="3">開館日数 291日</td></tr><tr><td colspan="3">蔵書数195, 012点(令和5年度末)</td></tr></table>					項 目	総 数	1日平均	入館者数	72, 317	249	貸出人数	43, 425	150	貸出冊数	222, 565	765	開館日数 291日			蔵書数195, 012点(令和5年度末)		
	項 目	決算額(千円)																																	
	図書館指定管理委託料	71, 245																																	
	報酬	85																																	
	図書資料、備品購入費	2, 100																																	
	合 計	73, 430																																	
	項 目	総 数	1日平均																																
入館者数	72, 317	249																																	
貸出人数	43, 425	150																																	
貸出冊数	222, 565	765																																	
開館日数 291日																																			
蔵書数195, 012点(令和5年度末)																																			
・資料収集及び定期的な蔵書点検と除籍による資料の適切な管理のため、10／2(月)～6(金)に蔵書点検を実施。																																			
・レファレンス(調べもの相談業務)の受付 258件																																			
・みにみに図書館(巡回図書)・・・市内小中学校・保育園・企業・公民館など最大35か所、3, 360冊																																			
・アウトリーチ(出張)貸出・・・子育て支援センター・市内各高齢者施設など																																			
・児童・一般・高齢者を対象として、各種企画事業を実施した。																																			
児童向け(9件)																																			
「おはなし会『ねえ、パパ 絵本よんで』」「わくわく塗り絵」「としょかんでつくっちゃおう！」																																			
「天の川お星さまおはなし会」「読書感想文教室」「おはなしとどけ隊」「冬の特大大おはなし会」ほか																																			
一般向け(10件)																																			
「ワークショップ・ガラスアートの世界」「としょかん川柳」「本をゆずる市」「としょかん福袋」ほか																																			
高齢者向け(1件)																																			
「岡野雄一氏講演会『ペコロスの母に会いに行く』」																																			
・市内幼稚園・保育園・小学校などからの図書館施設見学(18件)や研修の受入れ(5件)。																																			
・学芸部(講演21件・展示9件)																																			
・寄附金により読書バリアフリーに対応した読書支援機やテーブル、児童書、ホリゾン幕などの備品を購入した。																																			
																																			
○本をゆずる市																																			
																																			
○拡大読書支援機																																			

事業名	市民文化ホール及びふるさと資料館 管理運営事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係				
				費 目	生涯学習推進費				
事業費 (千円)	26,868	財 源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源		
						2,464	24,404		
事業内容	鹿島市民文化ホール【愛称:SAKURAS(サクラス)】が5月31日(水)に竣工、9月10日(日)に開館した。 開館前にはプレイベントを実施、その後開館記念式典を皮切りに、様々な開館記念イベントやコンサート、ふるさと資料館の企画展示事業を実施した。								
	○ 鹿島市民文化ホール開館記念事業				6,000千円				
	・プレイベント								
	6/29(木)～7/6(木) 予約者向け内覧会								
	7/29(土)～30(日) 市民向け内覧会								
	7月～8月 スタインウェイピアノ弾きならし のべ30回								
	トライアルラン 計4回								
	・記念自主事業(5事業) ※冠事業は除く								
	9/10(日) 開館記念式典・オープニングセレモニー								
	(1,200人)								
	9/23(土) NHK交響楽団トップメンバーによる								
	オーケストラ公演 (726人)								
	12/9(土) 春風亭小朝独演会 (316人)								
	12/23(土) OMURA室内合奏団クリスマスコンサート								
	(291人)								
	1/13(土) 癒しの音楽祭 (547人)								
	○ ふるさと資料館の展示								
	9/10～11/19 開館記念 人間国宝鈴田滋人展								
	11/25～2/16 納富進作品展～ふるさとの原風景～								
	2/20～5/19 鹿島ゆかりのレジェンドアスリート								
	～日本バレーボール界の巨匠 中野尚弘展～								
	その他展示								
	・伝統工芸「のごみ人形」「鹿島錦」「浮立面」								
	・美術作品「郷土作家の作品」								
	・ふるさとの偉人「田澤義鋪」								
	・考古資料「旭ヶ岡遺跡出土品」								
	・むかしの生活「農機具」「測量器具」「配置売薬・製薬業」「装い(装身具)」								
	○管理運営経費								
	○使用状況(9/10～)								
	項 目			決算額(千円)		項 目		実績(単位)	
	委託料(維持管理・運営)			10,294		使用件数		46件	
	Wi-Fi 設置工事			1,903		使用日数		94日	
	光熱水費			4,868		人数・来場者数		15,296人	
	消耗品費			1,828		使用料収入		1,964千円	
	その他経費(人件費・使用料ほか)			1,975		開館日数		167日	
	合 計			20,868					

○社会教育費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	社会同和教育事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費目	社会同和教育費		
事業費 (千円)	3,882	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				900			2,982
事業内容	○社会同和教育啓発事業 ・児童・生徒への人権に関する作文・標語・ポスターの募集と表彰 応募総数2,595点 (作文:714点、標語:1,573点、ポスター:308点) ・人権学習会の開催 9回:会場参加者 延べ298人 会場参加とケーブルテレビ録画放送視聴による2つの受講方法で学習会を開催した。 ・地区別人権・同和問題懇談会 鹿島地区 1回:19人、古枝地区 1回:16人、浜地区 1回:9人、七浦地区 1回:10人 ・市報に人権コラム「ひろげよう人権の輪」を毎月掲載 ・文化教養講座の開催 教育集会所 :書道教室(22回:延べ150人) 同和教育集会所:生花教室(24回:延べ121人)、ペン習字教室(11回:延べ72人) ○主要施策 ・人権啓発活動の推進 ・学校及び社会同和教育の推進 ○成果 学校・地域等における人権作品の取組や学習会、研修会の実施により、人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深めてもらうことができた。						
	【人権作文】市長賞(小学生) タイトル「やさしい中しさん」 教育長賞(中学生) タイトル「今の自分にできること」						
	【人権標語】市長賞(小学生) 「強さはね カじゃないんだ やさしさだ」 教育長賞(中学生) 「SNS 周りのうわさ それ本当？」						
	【人権ポスター】  ○市長賞(中学生) タイトル「人種差別『僕だって同じ人間です』」  ○教育長賞(小学生) タイトル「一人一人の受け入れる心」						

○社会教育費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	文化財保護事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費 目	文化財保護対策費		
事業費 (千円)	1,104	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						200	904
事業内容	○ 文化財の指定・登録 新たな市指定文化財として「福源寺梅嶺道雪菟集書物」を調査し、審議会へ諮問し答申を受けた。 佐賀県の登録文化財として「浮立面制作」が新たに登録された。(中原恵峰、小森恵雲・恵司) ○ 佐賀県指定文化財「鹿島城赤門」の屋根瓦修理 497千円 鹿島城赤門の屋根瓦が一部破損していたため、修理を実施した。						
	 ○福源寺梅嶺道雪菟集書物(一部)  ○鹿島城赤門屋根瓦修理(修理前) ○ 市内埋蔵文化財試掘・確認調査(8件) 347千円 各種開発行為に先立ち、埋蔵文化財保護のための事前調査を実施。開発と文化財保護の調整を円滑に行った。 ○ その他経費 260千円 文化財管理補助(7件)、文化財保護審議会(3/6(水)) 施設維持、文化財看板修理、各種負担金、旅費ほか 6/ 4(日) WithYou! 佐賀県文化芸術祭出演支援 (母ヶ浦面浮立保存会) 11/19(日) 第6回佐賀県民俗芸能祭出演支援 (鹿島市内の小学生面浮立) 1/28(日) 文化財防火デー防火訓練実施 (七浦母ヶ浦・鎮守神社)  ○母ヶ浦面浮立出演						
事業名	文化財保護事業 【繰越明許費分】			所管課	教育委員会 生涯学習課 社会教育・文化係		
				費 目	文化財保護対策費		
事業費 (千円)	18,343	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						18,343	
事業内容	○市民文化ホール SAKURAS 内に併設する「ふるさと資料館」で使用する展示用備品を購入した。 展示ケース、展示台、パンフレットスタンド、説明用スタンド、デジタルサイネージ用モニターほか						
	 ○折り畳み式展示台  ○展示用ガラスケース						

10款.教育費 (5項) 保健体育費

保健体育振興事業としては、SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、アーチェリー、軟式野球、グラウンドゴルフのリハーサル大会を実施し、本番を想定したより細やかな準備作業を行った。開催年に向けた広報活動として、市報、SNS、テレビなど各種メディアで活動状況などのPR、協賛のぼり旗、横断幕の設置を行った。また、各種スポーツ事業では、総合型地域スポーツクラブ「スポーツライフ・鹿島」(会員数490人)で体験教室の実施及びクラブ員交流事業により会員発掘や活動内容の周知を図った。スポーツ合宿においては4団体の合宿を行った。また、体育施設管理事業では、七浦海浜スポーツ公園プール屋根補修工事等を実施した。

○保健体育費の主な事業

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	スポーツ推進事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 スポーツ係										
				費 目	保健体育総務費										
事業費 (千円)	3,975	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源								
						606	3,369								
事業内容	市民がスポーツを通して健康増進が図られるように、健康チャレンジ事業や総合型地域スポーツクラブを推進し、気軽にスポーツを楽しめる機会と場所の提供を行った。また、スポーツ合宿誘致事業は、4団体を受け入れた。スポーツ推進委員活動では、佐賀県スポーツ推進委員研究大会を鹿島市民文化ホールで実施し、県内推進委員の交流研鑽を図った。 【令和5年度スポーツ合宿実績：4団体】 <table><tr><td>・東洋大学陸上競技部</td><td>17人</td><td>・明治大学競走部</td><td>11人</td></tr><tr><td>・福岡工業大学附属城東高等学校</td><td>19人</td><td>・ひらまつ病院陸上部</td><td>20人</td></tr></table>							・東洋大学陸上競技部	17人	・明治大学競走部	11人	・福岡工業大学附属城東高等学校	19人	・ひらまつ病院陸上部	20人
	・東洋大学陸上競技部	17人	・明治大学競走部	11人											
	・福岡工業大学附属城東高等学校	19人	・ひらまつ病院陸上部	20人											
	○事業内訳														
	No.	事業名	事業費(千円)	事業概要											
	1	スポーツ推進委員育成事業 (スポーツ推進審議会含む)	1,227	・スポーツ推進委員によるスポーツの振興、指導 ・総合型地域スポーツクラブによるクラブ会員交流大会などの実施											
	2	各種スポーツ推進事業	2,740	・スポーツ合宿誘致事業の実施(4団体) ・県民スポーツ大会の協力											
	3	保健体育推進事業	8	・体育施設協会負担金											
	 														
	○スポーツライフ鹿島(四季めぐりウォーキング)														
○スポーツ合宿(鹿島小との交流会)															

○保健体育費の主な事業(続き)

令和5年度 鹿島市決算(資料)

事業名	市立学校体育施設開放事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 スポーツ係		
				費 目	保健体育総務費		
事業費 (千円)	385	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						276	109
事業内容	市民に対し、市内の9小・中学校体育館の夜間開放を行い、スポーツ実施機会の提供に努め、スポーツ推進と体育施設の有効利活用を図った。						

事業名	スポーツ組織等の強化育成事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 スポーツ係		
				費 目	保健体育総務費		
事業費 (千円)	2,004	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						389	1,615
事業内容	スポーツの普及振興、スポーツ少年団等の育成及び各種競技の技術向上を図るために、大会の開催協力や支援事業を実施した体育協会へ補助を行った。						
	また、県代表として九州大会へ出場した小学生・中学生（団体）に対し補助金を交付した。						
	○事業内訳						
	No.	事業名	事業費(千円)	事業概要			
1	体育協会補助金等	1,691	市体育協会事業補助金 950 千円 県民スポーツ大会業務委託 641 千円 スポーツ振興事業交付金(指定寄附金) 100 千円				
2	全国・九州大会等出場補助金	313	29 件				

事業名	第78回国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 スポーツ係		
				費 目	保健体育総務費		
事業費 (千円)	42,275	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
				17,630		10,000	14,645
事業内容	SAGA2024国スポ・全障スポに向けて、5月に軟式野球、7月にアーチェリーのリハーサル大会を開催し、本大会に向けての課題等を見つけることができた。						
	市民スポーツフェスタでは近畿大学洋弓部によるデモンストレーションを行い、市民の皆さんのアーチェリーへの関心を高めた。また各種イベントでは国スポ競技の体験コーナーを設置し、PRを行った。市内小中高生に都道府県歓迎のぼり旗等装飾物の制作を依頼し、歓迎ムードを盛り上げることができた。						



○アーチェリーリハーサル大会



○市内小学生による都道府県応援のぼり旗

事業名	体育施設管理事業			所管課	教育委員会 生涯学習課 スポーツ係		
				費 目	体育施設管理費		
事業費 (千円)	80,540	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						6,615	73,925
事業内容	市民にスポーツができる場所を提供し、市民が安全にスポーツを楽しめるように施設の維持管理・修繕等に努めた。市内体育施設においては、北鹿島体育館のLED照明改修、七浦海浜スポーツ公園プール、林業体育館の屋根改修工事などを実施した。						
	○事業内訳						
	No.	事業名	事業費(千円)	事業概要			
	1	体育館及び広場管理事業	8,723	・各体育施設管理等業務委託 3,052 千円 ・北鹿島体育館照明改修工事 1,188 千円 ・修繕料、光熱水費ほか 4,483 千円			
	2	七浦海浜スポーツ公園管理事業	7,622	・施設管理等業務委託 2,162 千円 ・プール屋根改修工事 4,235 千円 ・光熱水費、保険料ほか 1,225 千円			
	3	北公園テニスコート施設管理事業	7,906	・施設管理等業務委託 5,884 千円 ・光熱水費、検査手数料ほか 2,022 千円			
	4	体育施設管理作業事業	2,068	・作業員報酬ほか			
	5	林業体育館管理事業	1,485	・施設管理等業務委託 622 千円 ・屋根雨漏り修繕 495 千円 ・光熱水費、検査手数料ほか 368 千円			
	6	蟻尾山公園管理事業	52,736	・指定管理委託 51,372 千円 ・修繕料、消耗品費ほか 1,364 千円			
	 ○七浦海浜スポーツ公園プール屋根改修工事  ○林業体育館屋根改修工事						
事業名	体育施設管理事業 【繰越明許費分】			所管課	教育委員会 生涯学習課 スポーツ係		
				費 目	体育施設管理費		
事業費 (千円)	3,410	財源	国	県	市債(借入金)	その他	一般財源
						3,410	
事業内容	鹿島市陸上競技場で使用する、芝刈り後の刈り芝集積機械の常用スーパーを購入。 平成10年から使用している機械が修理部品等の製造中止により、機器不調の際の対応も難しかったため、現在の後継機として購入した。						

事業名	学校給食運営事業			所管課	教育委員会 教育総務課 学校給食センター		
				費 目	学校給食費		
事業費 (千円)	117,428	財源	国	県	市債（借入金）	その他	一般財源
			9,552			1,000	106,876

○事業内容

令和5年度の鹿島市学校給食については、児童生徒の心身の健やかな発達を支えるため、安全・安心でおいしい給食を提供することが求められており、簡易給食や配膳が少ない給食などの対応を行うことなく、通常どおりの給食を小学校 196 日、中学校 196 日実施することができた。

（1 日当たり平均：小学校 8 校 1,515 食 中学校 2 校 705 食、学校職員ほか 268 食 計 2,488 食）

平成 26 年度から調理・配送部門を民間委託に移行しており、令和 5 年度からは 4 期目（令和 5 年度から 7 年度）に入り引き続き同じ業者に委託し、安全・安心でおいしい給食の安定供給はもとより、事業の効率化を図ってきた。この間、大きな事故等の発生も無く運営を行うことができています。なお、献立の作成、給食物資の調達・検査業務、調理の指示はこれまでどおり市で対応している。

現給食センターは、昭和 61 年の建設から 37 年以上が経過しており老朽化が進んでいる。施設・設備については、計画的に改修や更新を行いながら、給食を提供しているが、修繕費用は増加傾向にある。一般的に給食調理場施設の耐用年数は 20～30 年、調理器具等の耐用年数は 10 年から 15 年とされており、同センターは昭和 62 年 1 月に稼働していることから更新が必要な時期となっている。特に、センターの調理施設はドライ運用であり、衛生面や労働環境からもドライシステムの導入が強く求められている。

主な事業費

- ・学校給食センター調理等業務委託（第 4 期） 68,640 千円
- ・学校給食費負担軽減事業補助金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）9,552 千円

○主要施策

- ・豊かでバランスのとれた学校給食や食育を含めた健康教育と体力づくりの一層の充実に努める。
- ・学校給食における地産地消の推進と施設設備の維持、改善を行う。

○成 果

新鮮な旬の食材を多く取り入れ、行事食や各学校のアンコール給食等によりおいしい給食を提供し、食への関心が高められた。

また、栄養士を中心とした食育授業・指導等により、子どもたちが自らの食生活を振り返り、食に関する知識を深め、正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の形成が図られた。



○施設見学会



○鹿島のうまかばい給食

教育委員会事業の重点目標及び評価

1 鹿島市学校教育方針に基づく重点目標

- 新しい時代に生きる児童生徒に必要な資質・能力を伸ばす教育を推進する
- ふるさと「鹿島」を愛し、心豊かでたくましい児童生徒を育む教育を推進する
- 学校と地域の連携を強化し、地域の信頼に応える学校づくりを推進する
- 学びを支える教育環境の整備と充実を推進する

2 鹿島市社会教育方針に基づく重点目標

- 鹿島城大手門の保存修理工事の実施
- 生涯学習センター、エイブル及び図書館指定管理の指定に向けた手続き
- SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた準備とリハーサル大会の実施
- 鹿島市民文化ホールの運営開始及びオープニングイベントの実施
- 鹿島市ふるさと資料館での民俗・文化・芸術・歴史等の郷土資料の効率的な展示

〔事業の分類〕

教育 総務課	A	確かな学力	生涯 学習課	E	社会教育の推進
	B	ふるさと・命・思いやり		F	文化の振興
	C	地域連携・資質向上		G	スポーツの振興
	D	学びの環境			

〔事業の評価〕

評価 4段階	1	達成
	2	概ね達成
	3	やや不十分
	4	不十分

分類	ページ	事業名	自己 評価	評価委員会の意見・評価
(1項)教育総務費				●事業評価ができるようにするための指標設定を行う方が望ましい。
D	P5	スクールカウンセラー事業	2	●「スクールカウンセラー事業」や「スクールソーシャルワーカー活用事業」など学校と先生をサポートする点でよい事業であると評価できる。
D	P5	スクールソーシャルワーカー活用事業	2	
B	P6	鹿島市日韓子ども交流事業	1	●「鹿島市日韓子ども交流事業」や「外国青年招致事業」について、未来の子どもを育てる視点で事業が組まれている点でよい事業であると評価できる。
A	P6	外国青年招致事業	1	
D	P6	特別支援教育支援員事業	1	●公平性の観点から「鹿島市日韓子ども交流事業」が特定の小学校だけである理由が記載されている方が望ましい。
D	P7	金管バンド指導支援員活用事業	1	
C	P7	コミュニティ・スクール推進事業	1	●「外国青年招致事業」について、学校規模に対して、ALTが1人ずつ配置では偏りがあるように見えるので、勤務形態を詳しく記載したほうがわかりやすくなる。
A	P7	補充学習等支援事業	1	
D	P7	スクール・サポート・スタッフ配置事業	2	●「ICT支援事業」における支援が主に教員に対するものなので、今後は子どもがICTを使えるようになるために教員に対しどのような支援が可能であるかという視点で内容の検討を加えてはどうか。
A	P8	ICT支援事業	2	
A	P8	学力向上対策事業	2	
A	P8	学力向上サポーター活用事業	1	
A	P8	学力向上支援員事業	1	●「コミュニティ・スクール推進事業」では全校配置は完了したので、これからは地域に根差した方を掘り起こし、中身を充実させる手立てを講じてほしい。
D	P9	児童生徒自立支援事業	1	
B	P9	フッ化物洗口むし歯予防事業	1	●「特別支援教育支援員事業」「補充学習等支援事業」「スクール・サポート・スタッフ配置事業」の成果報告の記載を、児童生徒の必要感に応じた支援とわかるような表現がよいのではないかと。
D	P9	教育支援事業	1	
D	P10	医療的ケア児支援事業	1	●報告書の中で先生のサポートが見えにくいので、サポートが見えるような事業・表現があると望ましい。
A	P10	研究指定校事業	1	

分類	ページ	事業名	自己 評価	評価委員会の意見・評価
(2項・3項)小学校費・中学校費				●限られた予算できめ細やかに事業が組まれていることは高く評価できる。
D	P11	教材等備品整備事業	1	●「一人ひとりを伸ばす教育推進事業」は県内でも珍しい事業で、学校の主体性を担保し学校自体が育つ観点から評価できる。子どもたちの体験格差がその後の人生に大きな影響があるということが出ているので、このような事業を推進することで鹿島の子どもたちは豊かな体験に基づいて生活しているといえる。ぜひ継続してほしい。指標が「鹿島市の文化や歴史に興味があると回答した児童生徒の割合」となっているが、「興味や関心がさらに深まった」としてはどうか。「鹿島に対し愛着を持った」「誇りを感じた」という指標も付け加えてはどうか。
D	P11	感染症流行下における学校教育活動体制整備事業	1	
D	P11	特別支援学校等通学対策事業	1	
D	P12	部活動指導員活用研究事業	2	
D	P12	児童奨励対策事業・生徒奨励対策事業	1	
D	P12	就学援助事業	1	
D	P12	遠距離通学児童生徒対策事業	1	
B	P13	一人ひとりを伸ばす教育推進事業	1	
D	P14	小中学校施設整備事業	2	
D	P15	小学校長寿命化事業	1	
D	P15	中学校大規模改造整備事業	1	
				●様々な子どもを想定して「就学援助事業」や「遠距離通学児童生徒対策事業」など地域に合わせた事業を行っているところは評価できる。
(4項)社会教育費				●事業評価ができるようにするための指標設定を行う方が望ましい。
E	P16	社会教育振興	1	●「65歳盛年の集い」は、事業費をふまえて、開催方法の見直しを検討することも必要ではないか。ただし、市民の繋がりができている実績もあるので、継続してほしい事業と評価できる。
E	P17	少年教育	1	
E	P18	青少年対策	1	
E	P18	二十歳の集い	1	
E	P19	65歳盛年の集い	1	
F	P19	芸術文化振興事業	1	
E	P19	男女共同参画社会づくり事業	1	
E	P20	出前講座	1	
E	P20	放課後子どもプラン	1	
E	P21	公民館一般経常	1	
E	P22	生涯学習センター一般経常	1	●「芸術文化振興事業」「出前講座」は重要な事業である。だからこそ、事業を行ったから目標達成ではなく、参加者や市民の声を聴き、次の企画に活かしていくことが重要である。
E	P23	市民図書館一般経常	1	
F	P24	市民文化ホール及びふるさと資料館管理運営事業	1	
E	P25	社会同和教育事業	1	
F	P26	文化財保護事業	2	
				●「出前講座」は評判が良いことから、講座を増やして若い人も参加できるようにしてほしい。
				●地域の楽しみをつくるという視点で、様々な事業を限られた予算で実施されていることは評価できる。
				●目が向かない人もいる「社会同和教育事業」に関しても様々な事業が用意されており、講座や懇談会を継続されていることは高く評価できる。
				●働かれている年代の方々に対する社会教育をどう打ち出していくか、さらに、男女共同参画も大切な視点なので、そうした取り組みを検討していくことも必要ではないか。

分類	ページ	事業名	自己 評価	評価委員会の意見・評価
(5項)保健体育費				●事業評価ができるようにするための指標設定を行う方が望ましい。
G	P27	スポーツ推進事業	1	●「スポーツ推進事業」のなかに「スポーツ合宿誘致事業」があるが、誘致枠の他に公募枠もあるなら事業名の「誘致」という表現が誤解をうむので、表現方法を検討してはどうか。 ●スポーツ合宿について、事業継続含めて検討してほしい。市民に対しても、事業効果の実感がわくような周知をしていく必要がある。 ●体育施設は安全面が重要である。現状のように予算を確保し、計画的、継続的な修繕・改修に取り組まれていることは重要である。
G	P28	市立学校体育施設開放事業	1	
G	P28	スポーツ組織等の強化育成事業	1	
G	P28	第78回国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業	1	
G	P29	体育施設管理事業	2	
G	P30	学校給食運営事業	2	
その他全般				●今年度初回でいろいろな課題が出た。来年度以降は評価指標を明確にされることを希望する。
				●令和5年度学校教育方針と社会教育方針に基づいて実施された様々な事業に関しては、評価指標の問題や、現状の改善については意見があったが、事業執行については特に大きな問題点はなく評価できるものである。限られた財源の中で、国や県の予算を活用されながら関連施策全般にわたって細かく予算配分し執行されている点については問題なく進んでいると判断できる。評価指標については、令和6年度予算は執行中であり、これから指標を作るのは難しいので、今年度は仮に作成でもいいので、令和7年度の予算組みの過程で評価指標を意識しながら作成していくという手続きがよいのではないかと。執行率の達成指標というより、内実的な質による評価指標を作成されることを希望する。